

# 熊取町議会委員会会議録

環境施設広域化調査特別委員会

令和 5 年 3 月 15 日開催

熊 取 町 議 会

# 目 次

[環境施設広域化調査特別委員会]

ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について .....	1
し尿処理広域化に係る経過等について .....	6

## 環境施設広域化調査特別委員会

月 日 令和5年3月15日(水曜)招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	鯉谷陽子	副委員長	浦川佳浩
	委員	大林隆昭	委員	文野慎治
	委員	河合弘樹	委員	渡辺豊子
	委員	江川慶子	議長	二見裕子

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原敏司	副町長	南和仁
	総合政策部長	東野秀毅	総務部長	藤原伸彦
	住民部長	巖根晃哉	住民部理事	山本浩義
	環境課長	島尾学	環境センター所長	椿原康雄
事務局	議会事務局長	林利秀	書記	道端秀明

案 件

- 1) ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について
- 2) し尿処理広域化に係る経過等について

委員長(鯉谷陽子君)皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審査に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから環境施設広域化調査特別委員会を開会いたします。

(「15時29分」開会)

委員長(鯉谷陽子君)発言される方は挙手の上、着座で発言していただきますようお願いいたします。

本日の案件は、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件ほか1件であります。

初めに、案件1、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件について説明を願います。椿原環境センター所長、よろしくお願ひします。

環境センター所長(椿原康雄君)それでは、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についてご説明いたします。

まず1点目、令和4年度実施委託業務ですが、業務名が新ごみ処理施設整備事業に係る施設整備基本設計策定及び環境影響評価等業務、契約業者が株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間が令和3年7月5日から令和7年3月28日で、4年間契約の2年目に当たります。契約金額が3億266万5,000円で、令和4年度分の支払い予定額が1億4,935万8,000円となっています。

次に、令和4年度委託業務における業務別進捗状況ですが、まず環境影響評価手続業務につきましては、環境影響評価方法書について、大阪府環境影響評価審査会を経まして、8月1日付、泉佐野市田尻町清掃施設組合新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書に対する環境の保全の見地からの意見(申述)により、おおむね妥当との評価を得たところです。また、令和3年度から継続して実施している現場での調査は、本年1月末で完了し、次に大阪府へ提出する環境影響評価準備書をまとめているところでございます。

次に、施設整備基本設計につきましては、令和2年度において、施設規模、建設予定地、施設の整備基本方針などをまとめた基本計画をより具体的かつ詳細に検討を進め、複数のプラントメーカーからイニシャルコスト等に関するアンケート調査を行い、現時点の概算建設費用などをまとめているところでございます。

次に、PFI導入可能性調査業務につきましては、地方自治体の財政が逼迫する中、民間の資金、経営技術能力を活用した公共施設等の建設、維持管理、運営を行っていくPFIの検討が求められており、国の循環型社会形成推進交付金の交付要件にもなっているところでございます。本業務では、新ごみ処理施設の建設、運営に係る費用を民営と公営で比較し、その効果や事業手法の検討内容をまとめているところであります。

続きまして、2点目の令和4年度本町負担金についてですが、令和4年度の本町負担金として2,708万円の予定となっています。

その内訳としまして、①の委託費が2,658万円の予定です。これは、業務委託支払い予定額1億4,935万8,000円から交付金額2,832万3,000円を差し引いた1億2,103万5,000円に本町負担率21.96%を掛けた金額でございます。

次に、②の補助金等が50万円の予定としており、①と合わせた2,708万円が今年度の本町負担予定額となります。

続きまして、2ページをご覧ください。

3点目の新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会の設置についてですが、この委員会は、基本計画や基本設計でまとめた新ごみ処理施設の規模、立地、設備機器などを検証し、建設及び運営事業者の選定について調査審議することを目的として、泉佐野市田尻町清掃施設組合附属機関条例に基づき、11月1日に設置されました。委員定数は4名で、第1回目の委員会は12月22日に開催され、施設整備基本計画変更書に基づく施設規模などの検討を行ったところでございます。

次に、4点目、ごみ処理広域連携検討会についてですが、本年度は6回の会議を行いました。それぞれの内容につきましては、4月に環境影響評価業務進捗状況報告、PFI等導入可能性調査説明、7月に新ごみ処理施設整備事業スケジュール確認、業者選定委員会規則の協議、区画整理事業進捗状況の報告、8月に区画整理事業進捗状況の報告、環境影響評価業務における府審査会報告、建設業者アンケート結果報告、11月に建設業者アンケート追加報告、施設規模協議、環境影響評価調査結果概要報告、1月に第1回業者選定委員会の協議内容の報告、2月に区画整理事業進捗状況報告と、このような内容で行っております。

次に、5点目、ごみ処理広域連携検討会担当者会議についてですが、本年度は8回の会議を行いました。それぞれの内容につきましては、4月から6月にかけて、搬入基準統一についての協議、8月に区画整理事業進捗状況報告、環境影響評価業務における府審査会報告、建設業者アンケート結果報告、10月に泉南清掃事務組合への見学、12月に泉佐野市田尻町清掃施設組合粗大施設停止の説明、1月に第1回業者選定委員会の協議内容報告、3月に直接搬入に係る申込方法の検討と、このような内容で行っております。

次に、6点目、地元説明会についてですが、本年度は9回開催され、内容については、環境影響評価の中間報告、区画整理事業の報告などを主に行ったとお聞きしております。

最後に、7点目、今後の予定ですが、①4年間契約の3年目となります令和5年度環境影響評価業務等を実施します。

②次年度以降の造成、インフラ整備、地元対策等の経費に関する負担割合の検討を行います。

③施設整備スケジュールでございますが、令和5年度から7年度にかけて、土地区画整理事業として造成工事を行いまして、令和7年度には事業者公募、決定をし、令和8年度から4か年の予定で新施設建設工事を行います。そして、令和12年度から新施設稼働開始の予定となっております。

以上で説明は終わります。

委員長（鱧谷陽子君） それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 最初の委託業務に関する業務別進捗状況等の説明等、また負担割合についての説明等を理解させていただいたわけなんですけど、2ページ目のところの新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会の設置についてというところで、3点目ですね、そのところの、この選定委員会について、この選定、委員の選定は4名で、第1回の委員会は12月22日に開催されてというふうにありますけど、これってどんなメンバーなのか、ちょっとこの選定委員会についての説明をお願いしたいと思います。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 選定委員会の目的等は先ほど申し上げたとおりなんですけれども、その委員の構成ですが、大学の先生がお2人、それと弁護士の方がお1人、それから環境関係の一般財団法人で技術顧問をされている方お1人の、以上4名の構成となっております。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。

この分については、泉佐野市田尻町清掃施設組合附属機関条例ということで、熊取町は関係しないということですかね。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 本町としましては、事務局側として参加して、その会議の中では一応同席はさせていただくということでやらせてもらっています。

委員長（鱧谷陽子君） いいですか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。

今は、この施設組合が選定、委員会を設置するということになっているということなんですけど、そしたら、熊取町はそこには入れない、入れていないという、参加できていないというところなんですけど、参加できないというところなんですけど。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） メインで審議していただくのは先ほどの4名の方で、いろんな資料作成であったり情報提供であったりとかいうことは組合のほうがメインとなってやっていただいているんですけど、そこに同席して、本町もその審議の内容を拝見するということはできます。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 選定に当たって、大学の先生等、今おっしゃられていましたが、その選定するのは組合で選定された、人選はされたというところなんですけど。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 一応、事前にこういった方でやっていただくという、思っているんやということでの問いというか、そういう紹介はございまして、それはこちらとしては異存ありませんということで決まったような経緯でございます。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。

その中でどういった業者を選定していくべきかという、そういった規則をこの委員の中でもんでいただくというところですね。それで決まったことについて、またそれに基づいて熊取町はどのように関わっていくんですかね。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） その都度、その席に同席するのもありますけれども、また組合のほうからは、このような進行になっていますと、このような状況になっていますというような報告は随時受けるようになっておりますので、そこで本町の意見、もしあれば出していけるのかなというところは考えております。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。

次、5番目のごみ処理広域連携検討会担当者会議、この担当者会議の中には熊取町も入って意見を言えるということかと思うんですが、今、8回から15回まであったというところで、粗大ごみ施設の停止の説明とか、また直接搬入に係る申込方法の検討とか、これ直接搬入に係る申込方法とかいうのとか、ちょっとその内容等については、説明とかいうのは、どんな段階で説明あるんですか。今、まだ検討状況というところ、それぞれのご意見をいただいた中で、これからまだまだまとめしていくというところなんですか。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）今、委員おっしゃったとおり、まだちょっと検討を始めたところでございますので、今、各、泉佐野市、田尻町のほうの施設と熊取町のほうの施設の違いでありますとか、どっちがどういうふうにメリットがあるのか、デメリットがあるのかとかいうようなことを、今、出し合っている状況で、また近隣の施設等も見学に行かせていただいて、どんな方法が一番いいのかというようなことをこれから検討して決めていくという段階でございます。

委員長（鱧谷陽子君）すみません。山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君）ちょっと補足させていただきますが、上のところの4番の検討会、こちらのほうが部長級入った、事務担の部長級が入った会議になっております。そこで大きなところをいろいろ話し合うというような機会があります。

また、この下の、先ほど委員がご指摘いただいた担当者会議は、実際に事務をされている担当者の会議で、現状の報告を出し合って、今後どうしていくべきかという話し合いをする場というふうに考えておまして、そこでもんだ内容を、今度は検討会のほうにまた上げてきていただいて、最終的に詰めていくというような形になるかと思えます。

ですが、まだ検討会のほうにも実際のところというのは上がってきていなくて、いろんな現状、また今後の方針、それを話し合ってもらっているような現状というふうに理解していただければと思います。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。

担当者が一応年6回ぐらい会議でもんだ案件につきまして、広域連携検討会、部長会、部長が入った会議の中でまたそれをもんでいくということになって、報告を聞いて協議していくというふうになっているということですね。分かりました。

また、その内容について、今はこんなことやりました、やりましたという報告なんですけど、その内容についてはまだ、議会等でこんな意見が出て、今、協議していますという具体的な話については、まだ報告できる案件はないというところなんですね。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）まだ、ちょっとそういった形になったようなもの、段階ではございません。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。

そして、次、6番、地元説明会についてなんですけれども、開催9回やったというところで、説明会をした中で、環境影響評価の報告とかも地元の方に説明されたというふうにあるんですけれども、地元の方のご意見とか何か、どんなご意見等ありましたでしょうか。

委員長（鱧谷陽子君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）先ほども申し上げましたが、本年度の説明会につきましては、主に環境影響評価の中間報告や区画整理事業の進捗の報告などについて行われていることから、それらについての意見、要望が上がったというふうにお聞きしておりますが、事業そのものへの反対等は特

になく、皆さん、前向きに捉えていただいているというふうにお聞きしております。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。ありがとうございます。

最後、今後の予定のところ、地元対策等の経費に関する負担割合の検討とありますが、その辺のところ説明していただきたいんですが、今、地元対策等の経費って、どのくらいを予定されているんでしょうか。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 今現在、地元のほうで取りまとめ、まだされているということで、組合のほうにもまだ上がってきていないということです、それまた上がってきたら精査をしていくという予定になってございます。今現在、そういう金額的なものはまだ上がってきておりません。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） そしたら、まだ具体的な金額は出ていないけれども、負担割合については検討しているところなんですかね。負担割合はどういうふうな検討になっているのでしょうか。

委員長（鱧谷陽子君） 椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君） 負担割合につきましても、まだ検討始まっていないような状況でございますので、それも今後の検討事項かなというふうに考えております。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 本町としては、どのように考えておりますか。

委員長（鱧谷陽子君） 山本住民部理事。

住民部理事（山本浩義君） この検討会の中で、以前、話し合いかけたんですが、本町としましては、どのくらいのパイで出てくるのかが分からない中で、具体的な話し合いというのはなかなか難しいのではないかとこのところなので、まずは地元のご意見を聞いて、どれぐらいの額的なところとか、ものを取りまとめた上で、熊取町どれだけ出せるのかとか、どれぐらいで折り合いがつくのかということをお話し合っていきたいということはその会議のほうでは申し上げたんですが、具体的なところはまだ上がってきていないということで考えております。

ただ、考え方としたら、割合はまだ具体的なところというのはないんですが、搬入量割と均等割を基にパーセンテージを出していくというような考え方にはなろうかと思います。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君） 巖根住民部長。

住民部長（巖根晃哉君） もう少し、若干補足させていただきます。

先ほど、所長のほうからも説明させていただいたように、地元のほうの要望につきましては、幾つか泉佐野市で地区があるんですけれども、そのうちまだ一つの地区から最終的な、具体的な要望が出てきておらないというところで、その額的なものとか分からないという現状でございます。

その上で、今、理事が申しあげましたように、額もそうなんですけれども、そもそも地元が要望してきているものが何か、金銭的なものなのか、物理的な箱物なのかというようなところでやっぱり中身が変わってくると思うんですね。求められているものが箱物云々ということであるならば、それは果たして熊取町、また田尻町も同じように使えるものなのかどうなのか、1市2町で共有できるものなのかというところで、やはり全くこれはもう熊取町、負担すべきじゃないというものも出てくるかも分かりません。

それは、まだ出そろっていない中で私らは判断しかねているというところで、委員おっしゃられているように、出てきた中でそういったもの、これはほんまに必要なものか、そもそも本当に今回の広域の施設を建設するに当たって、地元対策として関連づけて必要なものかどうか、そういった精査も必要になってくると思うんです。単に要望だけを聞くだけではなくて、そういったところは熊取町としてしっかり取り組んでいきたいなというふうには思っております。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。

本当に、今、部長説明いただいたように、金額だけではなくて、その中身において負担割合を検討していただきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

委員長（鱧谷陽子君）ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。以上で質疑を終わります。

これをもって、案件1、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件を終了いたします。

---

委員長（鱧谷陽子君）次に、案件2、し尿処理広域化に係る経過等についての件について説明をお願いします。島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君）1、前回特別委員会以降の経過についてご説明申し上げます。

前回の当委員会の最後に、今後の予定ということで、以後の手續ということで廃棄物の処理施設の財産処分の承認申請と一般廃棄物の廃止届出書の提出というのがございますということと、熊取町都市計画審議会へのし尿処理施設廃止付議ということ、この2点、これからの以降の手續ということでご説明申し上げます。

今回、熊取町都市計画審議会での経過がございましたので、ご報告申し上げます。

令和4年、この熊取町都市計画審議会において、その廃止について可決いたどうかとしますと、大阪府の同意が要ということでございました。ですので、令和4年5月11日に大阪府から廃止についての同意をいただきまして、令和4年9月16日に熊取町都市計画審議会におきまして、都市計画施設としてのし尿処理施設の廃止について可決いただきました。

2番、今後の手續き予定ということで、大原衛生公苑の跡地利用につきましては、現在、関係部署間におけるプロジェクトチームにより協議、検討が行われているところでございます。その結果に基づきまして、国、大阪府に対しまして、補助金等に係る予算の執行の適正化に係る法律に伴う廃棄物処理施設の財産処分の承認申請及び一般廃棄物処理施設廃止届出書の提出を行っていく予定でございます。

なお、今後、この事務を粛々と進めまして、プロジェクトチームの結果に基づきまして跡地の形態が変わっていくということでございますので、当委員会におけるし尿処理広域化に係る経過というご報告につきましては、今回を最後にしたいと考えております。

以上でございます。

委員長（鱧谷陽子君）それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）12月議会で、このし尿施設の除却にするための調査委託料というものの、315万7,000円計上、予算で上がってきましたけれども、その分で調査委託料ですが、除却するための調査の進捗状況というか、どんな状態になっておりますか。

委員長（鱧谷陽子君）島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君）その業者と契約いたしまして、今はもう最終段階を迎えておりまして、まだ報告書が上がってきていないんですけども、どれぐらいの金額ということで報告書が上がってくるという予定でございます。今、まだ報告書は上がっておりません。

委員長（鱧谷陽子君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）いつぐらいに上がってくるんですかね。

委員長（鱧谷陽子君）島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君）もう早々と聞いておるんですけども、3月中には必ず上がってまいりますので。



委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。

今現在、その関係部署間におけるプロジェクトチームによって協議していること、その跡地利用について、どのような協議、検討状況になっているのか、ご説明願えますか。

委員長（鱧谷陽子君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） 私も一応プロジェクト員の一員ということで、分かる範囲でお答えいたします。

現在、基本構想の案の策定に向けて事務を進めておるといところでございます。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 基本構想に向けての事務というのは、どういう基本構想なんですか。

委員長（鱧谷陽子君） 東野総合政策部長。

総合政策部長（東野秀毅君） 島尾課長からお話したとおりなんですけれども、私から少し補足させていただきます。

12月の全協で、方針ということで、方向性ということでお示した資料の中にも書かせていただいているんですけれども、現状、あのおきにお示したのは比較的、文字だけが並んだようなものですので、一定基本構想という考え方を全部整理したものとして一旦まとめて、次のステップに行くための作業を今進めております。

それと併せて、現状、その当時も今も変わらないんですけれども、国費、除却は大きな費用かかってくるところで、国費もらえる部分があるということで、それをうまく使えるような形で作業を進めていくためにも、国の、国土交通省のほうとも連絡というか、そういう機会を捉えて、どういう形にすれば間違いなくもらえるかという、そういう協議のほうも並行して進めているような現在の状況でございます。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） そういうので、まだ協議進めている途中の段階というところで、国からのそういったものも分からないというところですよ。国からの補助、交付金ですか、補助もどの程度あるかとかですかね、中身に基づくというところなのかと思うんですが、今、まだちょっとこのところ、何も見えていない中で、し尿処理広域化に係る経過等についての説明はもう今回限りということをおっしゃっておられましたけれども、この中身については、まだちょっと聞かせていただき、報告いただきたいなど、このプロジェクトチームで協議して、どうなっているのかというところの説明というものが、やっぱり報告というか、いただきたいなどと思うんですけれども、それは、そういう場というのは設定していただけるんでしょうか。どこですか、全協ですか。

委員長（鱧谷陽子君） 東野総合政策部長。

総合政策部長（東野秀毅君） 前回、全協のほうでお示した内容の次のステップということであれば、当然全協のほうでお示するような形、ご説明する形になるかと思えます。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） 分かりました。

このし尿処理場広域化に係る経過、し尿処理場は、もう廃止が府として同意を得たから、もうし尿処理としての検討状況についての報告はこの特別委員会ではないですよというところで、もう今回限りということですね。

じゃ、もう新たに、今、そのプロジェクトチームで検討しているところについてのこの跡地利用につきましても、全協でご報告いただけるというところですね。

委員長（鱧谷陽子君） 東野総合政策部長。

総合政策部長（東野秀毅君） そのタイミングが、ちょっと今、いつかということは明確に申し上げられ

ないんですけども、当然前回から変わっていくような内容を適時、適切なタイミングでご説明したいと考えております。

以上です。

委員長（鱧谷陽子君）ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。以上で質疑を終わります。

これをもって、案件2、し尿処理広域化に係る経過等についての件を終了いたします。

---

委員長（鱧谷陽子君）以上で、本日の案件は全て終了いたしました。

その他、何かご報告等があれば承ります。何かございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、これをもって環境施設広域化調査特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。ご苦労さまでした。

---

（「16時03分」閉会）

---

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

環境施設広域化調査特別委員会委員長

鱧谷陽子